

## 【水彩画クラブ27】卒業後8年目の活動 2020年11、12月

### ◇第168回活動:2020年11月9日(月) 午後1時から ヌエック本館/美術・工芸室

新課題『湖畔に映える紅葉』を描いていく1回目が始まった。

新課題写真は、大きさがヨコ寸法に対してタテ寸法が短い長方形の形になっているので、タテの上下を空けて中央にデッサンしてきた。

描いていく時に上と下に絵の具がはみ出さないように、マスキングテープを貼ってきた。

#### 1. 湖手前の草地を描いていく。

(自分はベンチ後ろにある木の柵は描かなかった)

- ① ベンチ後ろの暗がりに見える、白っぽく見えている芦の茎に、マスキングペンで描くようにマスキングする。
- ② 黄色の草地に白っぽく見える落ち葉に、葉っぱの形を意識しながらマスキングペンで描くようにマスキングしていく。
- ③ 黄色と緑色を水溶きしておく。
  - a) 黄色 黄色を水溶きしておく。
  - b) 緑色 暗緑色に木灰色を少量混ぜて暗めの緑色をつくり、水溶きしておく。
- ④ ドライヤーでマスキングインクを十分に乾かしてから、b色を小筆に取り、ベンチ脚の周囲に生えている芦の茎を課題を見ながら細目に描いていく。
- ⑤ ベンチ左横の水辺に生えている黄色や緑色の芦の茎も、小筆でスーッと黄色のa色やb色を小筆に取り、課題を見ながら細く描いていく
- ⑥ 描いてきた色をドライヤーで乾かしてから、緑色や黄色い芦の茎をマスキングペンで描くようにマスキングしていく。
- ⑦ ドライヤーでマスキングインクを十分に乾かしてから、黄色の草地を塗っていく。  
黄色の草地に平筆で水をサーッと塗り広げてから、ベンチの左側や下の草地と右側の草地に、a色を平筆で塗っていく。
- ⑧ 塗ってきた黄色の草地をドライヤーで乾かしてから、黄色の草地に見えるツツツと生えている草に、細いマニキュアペンで下から上にツツツと描いてマスキングしていく。
- ⑨ ドライヤーでマスキングインクを十分に乾かしてから、右側の草地に見えるツツツと生えている草に、b色の緑色を細い小筆で課題を見ながら下から上にツツツと描いていく。

※ 今日の活動はここまでで終了した。

次回までに、草地に落ちている落葉、ベンチ裏の暗い影部分、ベンチ下の土と黄色い草の境目、白いベンチなどを描いてくる。

◇ ヌエックに戻ってきてから、受付で新型コロナ感染防止に係る書類を貰い、提出してきた。

- ① 参加者名簿の作成  
参加者名、咳の有無、体温測定、マスク所持の有無、連絡先(携帯電話番号)
- ② 利用者書類  
利用団体名:水彩画クラブ27 代表者名 連絡先 などの記載
- ③ ドアノブ、蛇口、テーブルなど人の手が触る所を、手渡されたアルコールで拭き取りを求められた。

### ◇第169回活動:2020年11月23日(月) 午後1時から ヌエック本館/美術・工芸室

新課題『湖畔に映える紅葉』を描いていく2回目が始まった。

前回に描いてきた”湖手前の草地とベンチ”を、自宅で仕上げてきた。

また、今日描いていく”湖後方の紅葉”の木々や葉っぱ群の、隙間に見える白いところや淡い目に見える所にマスキングを施してきた。

前回の活動で描いてきた手前の草地とベンチを、自宅で仕上げてきた。

そして宿題だった”湖後方の紅葉”の木々や葉っぱ群の、間に見えるところにマスキングを施してきた。

#### 1. 湖後方に見える紅葉を描いていく。

- ① 紅葉の色を水溶きしておく。
  - a) 黄色 黄色を淡い目に水溶きしておく。
  - b) オレンジ色 橙色を淡い目に水溶きしておく。
- ② 黄葉の葉っぱに、淡い目に溶いた黄色を小筆に取り、課題を見ながら描いていく。
- ③ 次に、紅葉の葉っぱに淡い目に溶いたオレンジ色を小筆に取り、課題を見ながら描いていく。
- ④ 塗ってきた絵の具をドライヤーに十分に乾かしてから、葉っぱ群の明るく見える葉っぱを意識しながらマスキングペンで葉っぱの形を意識しながらチョンチョンと描くようにマスキングしていく。
- ⑤ ドライヤーでマスキングインクを十分に乾かしてから、少し濃い目に水溶きした黄色を小筆に取り、課題を見ながら黄葉の少し濃い目に見える所に、場所や形を意識して塗っていく。塗った色の端を水筆で少しぼかしていく。
- ⑥ 少し濃い目に水溶きしたオレンジ色を小筆に取り、課題を見ながら黄葉の少し濃い目に見える所に、場所や形を意識して塗っていく。塗った色の回りを水筆で少しぼかしていく。  
左側にある太い木々の間に見える紅い葉群に、同じ濃い目のオレンジ色を小筆に取り、課題を見乍ら紅く見えるところに塗っていく。直ぐに水筆で回りをぼかしていく。
- ⑦ 左側の木々や、水際に見える黒く見える影を描いていく。
  - 1) 鮮青色と焦げ茶色を混ぜて黒っぽい色をつくり、水溶きしておく。
  - 2) 水溶きした黒い色を小筆に取り、左端にある木々間の黒い部分に課題を見ながら塗っていき、直ぐに周囲を水筆でぼかしていく。
  - 3) 水際や右側にみえる黒い影部分にも、1)でつくった黒い色を小筆に取り、課題を見ながら塗っていき、直ぐに周囲を水筆でぼかしていく

※ 今日の活動はここまでで終了した。

2、次回(12月13日(日))の活動予定      又エック本館／美術・工芸室  
次回までに準備してくること。

- ① 今日描いてきた湖後方の紅葉を仕上げてくる。
- ② 湖の右端に見える紅葉の樹を描いてくる。

#### ◆第170回活動:2020年12月13日(日) 午後1時から 又エック本館／美術・工芸室

活動開始前にみんなに報告した。

12月9日(水)の午後 1時半頃に又エックの予約係から電話があった。時間の都合で翌日の偽善10時頃に問い合わせた処、「埼玉県に再びコロナウィルス感染の軽症・無症状者の宿泊療養施設として、宿泊施設(99床)を翌年1月から3月迄提供します。従って宿泊施設がある本館が閉鎖されるため、研修棟のみ解放されます」との内容でした。本館受付にある予約係は、翌年1月から研修棟1階にある事務所に移転されることでした。

既に1月と2月の施設予約が済んでいたのので、改めて研修室(207室)に予約変更申込みをしたが「207室は又エックの事務所として使用されるので貸し出しは出来ない」とのことなので、206室を予約した。

活動を開始してから30分位経過した頃に小和瀬さんがお孫さんを共に連れて、自分の畑で採れた白菜や大根、柚子を7人分ビニール袋に入れて持って来てくれた。

小和瀬さんは「来年1月4日に腰や大腿事の治療のため入院します」と報告され、暫くの間活動は欠席される予定。

佐久間さんから第8回美術展の会計報告書が回覧され、下段にみんなが署名した。

新課題『湖畔に映える紅葉』を描いていく3回目が始まった。

今日の活動は湖面を描いていく。

1. 湖面に映る紅葉の木々を描いていく。

① 青黒い木々の影を描いていく。

1) 映っている木々の間に見える白い湖面部分にマスキングをしていく。直ぐにドライヤーで十分に乾かしておく。

2) 青っぽい影色をつくる。

鮮青色に少し暗緑色を混ぜて水溶きしてから、紫色を混ぜて淡い目に水溶きしておく。

3) 小筆に青っぽい影色を取り、課題を見ながら湖面に映る影部分に、形を意識しながらサーッと塗っていき、水筆で先端や両脇をぼかしておく。

② 黄色や紅色などをかいていく。

1) 淡い目に水溶きした黄色を小筆に取り、課題を見ながら黄色く見えるところに塗っていく。直ぐに周囲を水筆でぼかしておく。

2) 淡い目に水溶きした橙色を小筆に取り、課題を見ながらオレンジ色に見えるところに塗っていく。直ぐに周囲を水筆でぼかしておく。

③ 緑に見える所には、淡い目に水溶きした暗緑色を小筆に取り、課題を見ながら塗っていく。直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

※ 今日の活動では青っぽい影色を描いてきたところで終了しました。

次回は別の課題を描いていくので、各自自宅で仕上げて来年 1 月の11日(月)活動日に持って来るよう、内ちゃん先生から 宿題が出された。

2. 次回(12月28日(月))の活動予定                      スエック本館／美術・工芸室

次回活動の課題写真『紅い葉っぱと緑の葉っぱ』が配られた。A4サイズ1枚に同じ写真が2枚並んでいる写真で、上の写真はハッキリした明るめで、下側が濃い目になっている。

準備してくること。

① ウォーターフォード水彩紙からA5サイズ(148×210cm)かB5サイズ(182×257cm)を切り取って用意しておく。

② 濃い目の写真裏側を4B程の鉛筆を走らせて、葉っぱの輪郭を染めるように塗っていく。

③ 水彩紙の上に裏側をB4鉛筆で塗った写真を置き、葉っぱの輪郭をなぞるように鉛筆で描いて複写していく。